

留学報告 ~ Essec Business School ~

会計研究科2年 野崎麗

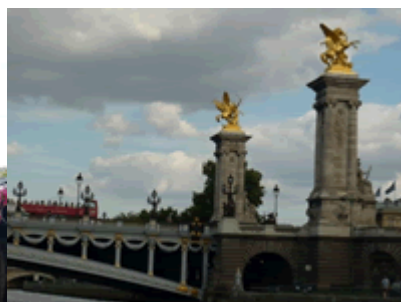
Bon jour! 会計研究科の交換留学プログラムにより、フランスのgrandes écoleのひとつEssecに派遣していただき、8月末から4か月間フランスのCergyでの生活が始まりました。

9月からの1ヵ月はフランス語の語学プログラムに参加し、10月からは本格的に授業が始まっています。語学プログラムでは各国の留学生たちとともにフランス語を学びました。留学生の出身地は多様で欧州ではイタリア、スペインなど、アジアからも中国、台湾、韓国、インドなど、中東諸国やアフリカ諸国からはフランスの旧植民地であるモロッコ、レバノンなど多岐にわたっています。1ヵ月間の語学プログラムに参加したものの、フランス語は難しく、留学生との共通語も英語なのでフランス語がなかなか上達しないのが悩みではありましたが、留学生たちは同じ寮に住んでいるのですぐに仲良くなることができました。9月は授業時間や宿題も少なかったので留学生同士でParisに出かけたり、各国の料理を持ち寄って寮の部屋でパーティをしたりと毎日のように交流を深める機会があり楽しく過ごしました。

10月から始まった授業では、財務諸表分析、ファイナンス理論、M&Aなどを履修しました。授業の進め方は講義で基本的な理論を学び、その理論をもとに講義後にグループでケース分析をする形式をとっています。授業中は生徒と先生が議論することも多く、授業後も宿題やグループワークによる発表の準備などが毎日のようにあります。考え方が異なる外国人の学生たちと外国語で自分の意思を伝え、ひとつのものを作り上げていくのは時間もかかり大変な作業ですが、各国の優秀な学生に新たな発見を与えてもらいながら過ごす毎日はとても刺激的です。

またこちらに来て驚いたのは、日本に対する関心の高さです。Parisでは日本料理店があちこちにあり、スーパーでも寿司が売られています。印象派のモネがジャポニズムの影響を強く受けていたからなのか、日本のアニメが魅力的だからなのか、フランス人は日本文化を高く評価している印象があります。アジア出身の留学生においても、日本語を流暢に話す人や日本マニアのような人も多く、日本人に対して温かく接してもらえるのは嬉しい限りで、日本人でよかったなぁと思う瞬間でもあります。寮では頻繁に停電したり、24時間営業のお店がひとつもなく日曜日は全部閉店してしまったり、日本のような整備されたインフラや便利さはないものの、温かい仲間を支えられ "C'est la vie (人生を楽しもう!)" の精神で充実した毎日を過ごしています。

4か月という短い期間ではありますが、世界各国の将来のビジネスエリート達と机を並べたり、冗談を言って笑ったりしながら過ごすこの時間は、私にとってかけがえのない財産になることは間違いありません。このような機会を与えてくださった小林先生、川村先生をはじめ会計研究科の皆さまに心から感謝いたします。留学期間も残り少なくなってしまいましたが、有意義な時間を過ごしたいと思います。À bientôt!



2010年度秋出発：交換派遣留学生募集中！
書類締切 2010年1月21日（木）



租税資料館賞を受賞して

林 めぐみ
税理士・
2009年3月高度会計専門コース修了

【喜びの声】

今年3月、会計研高度会計専門コースを修了しました林めぐみと申します。この度、会計研在学中に書かせていただきました専門職学位論文「自社（自己）株式の税法上の評価 - 発行会社の取扱いを中心に - 」で、租税資料館賞を授与されました。論文を書いた経験が無かったにもかかわらず、このような賞を頂戴したのは、指導教授の品川芳宣先生の熱心なご指導の賜物と言うほかはありません。また、社会人として仕事を持ちながら、自己の興味深いテーマでの研究をする機会を与えて頂いた早稲田大学会計研に感謝いたします。本当にありがとうございます。今回の受賞を励みとし、是非、今後の税理士業務に活かしたいと思います。

【苦労したこと】

初めての論文の執筆でしたので、構成、具体的な書き方等、初歩的なことから勉強させていただきました。自己の考えを文章で他者に伝えることの困難さを痛感した1年間でした。しかし、その苦労の甲斐があり、簡単な文章を執筆することに関しては、抵抗がなくなり、自信ができました。

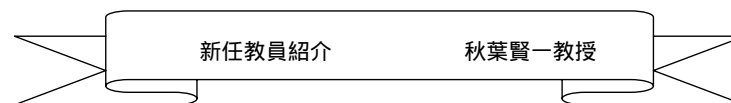
【先輩へのメッセージ】

私が会計研に在籍していたのは、たった1年間でしたが、一般コース（2年間）の学生の方は、私のクラスメイトの方も、まだ在籍されて勉学や就職活動に励んでいらっしゃると思います。今振り返ると、会計研の学生は、多種多様ではありますが（例えば、会計士又は税理士等の試験合格、就職、論文執筆等）、皆、目標をしっかりと持っていたということが思い出されます。一つの目標が達成されれば、また次の目標を設定し、... 人生は、その繰り返しですが、目標があるということは素晴らしいことだと思います。会計研で勉強された方々が、会計研を離れた後も目標達成のために努力され、様々な分野でご活躍されることを期待いたします。

租税資料館賞について

租税資料館賞は、財団法人租税資料館が、税法学ならびに税法と関連の深い学術の研究を助成するため、税法等に関する優れた著書及び論文に対して、毎年表彰を行い、賞金を贈呈するものです。

大学院生の論文は一般に租税資料館奨励賞の対象となりますが、税理士として実務で活躍しながら高度会計専門コースで研究論文を執筆した林さんは研究者に授与される租税資料館賞を受けました。



9月から会計研究科で財務会計を担当することとなりました。以前は、監査法人にて上場会社を含む企業の会計監査という表街道の仕事のほか、アレンジャー向けにデリバティブ取引や証券化などに関する会計アドバイスなど、コンプライアンス重視の近年ではあまり見られなくなった業務にも携わっておりました。また、監査法人では、スタッフの頃、シドニー事務所勤務したり、マネージャーの頃に日本銀行の金融研究所で客員研究員となったりと、様々なことを経験させてもらいました。



さらに、パートナーとなってからも2009年までの8年間、企業会計基準委員会（ASBJ）へ出向し、会計基準開発に加え、EU同等性評価、IASBやFASBとの定期協議、東京合意の公表などにも関わることができました。

昨今のような流れの早い時代における会計専門家には、既存の会計基準に関する知識はもとより、環境変化にも対応できる能力が必要になると考えます。資格の有無だけではなく、皆さんが、アカウンティング・マインドをもって自ら問題解決できる素養が身につけられるよう、手助けできればと思います。

プロフィール

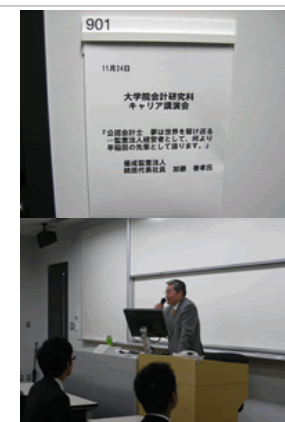
1986年横浜国立大学経営学部卒業。同年英和監査法人（現 あずさ監査法人）入所。1989年公認会計士登録。同法人にて1998年から社員、2007年から代表社員。この間、2001年から2009年まで企業会計基準委員会（ASBJ）へ専門研究員（2007年から主席研究員）として出向。1997年から1999年日本銀行金融研究所客員研究員、1999年から2003年金融庁 企業会計審議会 幹事。

キャリア講演会

「公認会計士 夢は世界を駆け巡る
・・・監査法人経営者として、
何より早稲田の先輩として語ります。」

優成監査法人
統括代表社員 加藤善孝氏

会計研究科学生のみならず、高校生から他学部・他研究科の学生まで幅広く55名ほどの参加がありました。世界の動きを感じ取ること、刺激を味わうこと、人前で話すこと、英語力など、自分を磨くことの重要性についての力強いメッセージは、これから社会に羽ばたこうとしている学生にとって、大変貴重なアドバイスになったことと思います。





卒業プロジェクト

今年度も卒業プロジェクトが発足しました。2010年3月25日の学位授与式にむけて、懇親会の準備・運営や卒業アルバムの作成など、学生主催の企画はプロジェクトメンバーを中心に進行します。

また、昨年度の卒業プロジェクトの熱心な活動により、2009年3月から学位授与式でのアカデミックガウンの着用が研究科公認となりました。式典の華やかな様子は、修了生にとってよい記念となっただけでなく、出席した保護者の方や教職員にも好評でした。

アカデミックガウンについて

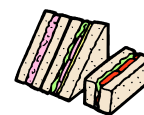
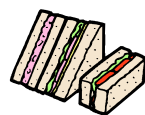
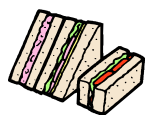
アカデミックガウンは、決められた時期に生協でレンタルの申込手续を行ってください。今年度の詳細は決定次第Waseda-netポータル等で案内します。

申込期間：3月上旬

(卒業対象者成績発表から10日間程度の予定)

申込方法：生協ライフセンター(17号館)で申込

料 金：16000円程度(昨年度参考)



会計研究科学生・教職員懇親会開催のお知らせ

日 時：1月20日(水) 12:15~14:00
13:00中締め、
3限の授業のない学生は14:00まで

会 場：国際会議場3階 第一会議室

申込方法：下記いずれかの方法でお申し込み下さい

1) Eメールで、題名を「1月20日懇親会申込」とし、
学年・氏名を下記アドレス宛に送信する。

宛先：accounting-student@list.waseda.jp

2) 会計研究科事務所カウンターにて、参加申込書に
記入する。

1月8日(金)までにお申込ください。

軽食アイデア
も引き続き募集
しています